

『一生懸命』 幻の議会報告第37弾！



たかむらともや

2008年 11月 30日発行

③ 視察報告

11月 13日 (木) 愛知県犬山市にお邪魔しました。犬山市は全国統一学力テストを受けない」と全国で唯一あの統一学力テストを拒否した市です。犬山市教育長の瀬見井久先生をはじめとする犬山市の先生達は、犬山の教育にあの学力テストは馴染まない。そう判断したのです。競争ではなく 学びあいを大事にしたい」先生達にはそういう願いがあったのです。その瀬見井久先生達が書いた本を読んだのが今年の9月。全国学力テスト参加しません。」という本です。その本を読み終わった瞬間、「犬山市に行こう！」そう決めて、犬山市に連絡をとりました。

③ 副読本

犬山市は「全国統一学力テストを受けない」ことだけで有名なのではありません。犬山の先生達は自分達で毎年副教本を作っているのです。国語と算数と社会の副教本を僕は見る事ができましたが、これがまた素晴らしい。毎年、毎年試行錯誤しながら自分達の副教本を作り上げていく・・・先生たちにも子ども達にも力が付くわけです。写真は犬山の小学校の6年生の子ども達。写真撮影がうるさくなっている中で、市教委も校長先生も「写真？ OKですよ！」と 撮影を快諾していただきました。そして、子ども達もこの表情です。



③ 小人数学級

犬山市は独自のシステムで少人数学級を実現していることでも有名です。教務主任・公務主任・学年付教師という県費の教員に担任を持ってもらうことで、学級を増やし、30人の少人数学級目指しているのです。(小学校で90%、中学校の70%がほぼ目標達成)そして穴のあいた分を市独自の臨時採用で補っているのです。それにかかる費用は年間およそ1億5000万。決して少ない金額ではありませんが、それだけの効果が出ていることも事実です。新座市の「英会話」とはそこが決定的に違います。



犬山の小学校は基本的に4人から5人一班での授業が多いのです。みんなでそれぞれが役割を決めて学んでいきます。競争ではなくて、学びあう心を育てようとしているのです。

③ 思い出します・・・

五中でも六中でも東大・京大や早稲田・慶応に行く子達がいました。その子達は実によく友達の勉強を見てくれていました。勉強が得意な子達が遅れている子達を教えてくれることで、僕のクラスはいつも学年でトップのことが多かったのです。遅れている子をみんなで引っ張りあげていくと、クラス全体の成績が上がっていくのです。犬山市は市全体でそれを行っています。そういう教育が今の新座市には必要なのです。

③ NET

新座市の英会話の先生はAETとALT。Assistant English teacher とAssistant language teacherです。いずれにしてもアシスタントという名前が付くネイティブですが、要するに一人では授業ができません。ところが犬山市は違います。犬山市の英会話の先生達はNETと呼ばれています。Native English teacherです。そのNETが一人で授業をしていくのです。NETの給料は月に44万円。新座に比べるとはるかに高く感じますが、新座市の英会話は基本的には二人ですから、それを考えると安いですね。NETは授業も部活動も掃除も他の先生と同じようにして、夏休みも給料は支給されます。こうして優秀な先生が集まってくるのです。犬山市の中学生の英語の成績は全国平均をはるかに上回っています。

③ 教育長と教育委員会

テレビで「たけしの日本教育白書」を見た人も多いでしょう。あの番組に登場し、教育委員会は学校現場を支援する立場です。」と発言したのが、瀬見井教育長です。犬山の先生達、子ども達の力を信じて力一杯応援しているのです。その教育長の机の上を見てビックリ! もの凄量の本が山積みとなっていました。間違っていると思ったら文部科学省や県教委の方針にも従いません。自分達の教育に対する信念を貫き通します。そして、その主張は実に筋が通っているのです。僕は犬山市を視察して、それを肌で感じてきました。こんな教育委員会が日本にあったんだ! 僕は感動で胸がいっぱいになりました。



意気投合した教育委員会指導課長の滝誠先生。頭の格好も考え方も僕と似ていてビックリ!

たかやんのプロフィール

本名たかむらともや。東京都新宿区生まれ。新宿区立西戸山中学、都立石神井高校を経て北海道大学へ。大学3年の時、朝日新聞の「今学校で!」を読み、教師になることを決意する。1977年から五中・六中・二中で授業(理科・国語・英語・数学・体育)にクラスに、そしてテニスに燃えた21年間を過ごし退職。2000年2月、市議会議員選挙で9768円で戦い975票で落選。2004年2月の選挙でも、お金をかけずに戦い1272票で初当選。2008年も同様に、1433票で当選。2期目に入る。どの政党にも、どの会派にも属せず一人会派「語る会」で、しがらみのない発言をし続けている。また議会を離れたところでは「たかやん塾」で小中学生・高校生と共に歩んでいる。石神・片山小と六中では障がい者支援団体「よこ糸をつむぐ会」のメンバーとして活動。「黒目川川づくり懇談会」に「いざ教育委員会」代表。石神3丁目在住。母と妻子の4人家族。趣味はテニス・サッカー・囲碁・将棋・読書・音楽・川掃除。クルム伊達公子・小野伸二・藤沢秀行・羽生善治・倉本聡・トム・ハンクスのファン。

詳しくは **たかやんの応援団** で **検索** 

たかやんの連絡先

自宅 042-456-8869
携帯 090-6497-5737

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106